

ぐきょうじ
弘教寺ぐきょうじ
弘教寺

第63号

発行所

〒370-0131
伊勢崎市境米岡二七九-二
浄土真宗本願寺派弘教寺
寺報編集部
電話 〇二七〇(七四)〇五七三



寺のQR

住みにくい世の中になったもんだ！

弘教寺住職 中山英昭

今日金融機関に行ってみて驚きました。システムが変わり、タブレット方式で出金するようになっていました。窓口の方は簡単ですと言われるが、戸惑うことしきりでした。今や電子化がどこでも進み、人と人とのコミュニケーションは消えてきております。スーパーや書店もペーパーレス化が進みセルフレジで戸惑うことが多くなりました。

車にしても入れ替えの度に難しい機能になっています。CDを聞こうと思ってもUSBメモリーに入れ替えないと聞くことができません。私たちには使いきれない代物と化してしまいました。若い人達には容易に使いこなせる機能ですが、私には難しいのです。

人手不足、経営の合理化によってAIの導入も始まり、アナログの世代には生活空間が狭められてゆくような思いを強く感じます。

これだけ高齢化した世の中なのだからせめて高齢者用、若者用と選択できるような余地を機能として持たせてもらいたいものです。

半世紀前にコンピュータが出始め、今や

パソコン無しに生活が成り立たない程に進化してきました。経営や管理の上で便利なものだと思いますが、ネット詐欺が横行し、数万円の被害がマスコミを賑やかせております。携帯が鳴れば出てよいものか迷う毎日です。仕事柄出ないわけにはいかないので出てみれば、商品の勧誘の話であったり、保険等の勧誘であつたりと、疑ってはいけないことですが、いつの間にか疑う思いが先になっている日常です。



また最近では犯罪も複雑化して主犯格は表に出ず、ネットで募集した闇バイトの若者を利用し昼間でも構わず住人がいても強引に金品を奪い、場合によっては殺害までも実行する恐ろしい時代になってしまいました。ネット情報は家に居ながらにして物を購入したり、旅の予約ができたりと便利なのですが、反面インチキ品をつかまされたり、聞いていたことと違う内容であつたりとネットの怖さを共有しておくことを忘れてはならないと思います。

またネット情報は青少年層にも影響を及ぼし、オーストラリアでは少年層に害を与えることとして、厳しい規制がかけられたようです。ヨーロッパの国々でもいじめや誹謗中傷の手段となつたり、犯罪に巻き込まれることから年齢規制が設けられるようです。

高齢者の場合で言えば、オレオレ詐欺が複雑になり、あれだけマスコミの報道や金融機関窓口で注意するように掲示されているにも関わらず、より巧妙な手口で騙され続けている報道をみます時に何とかして欲しいとつくづく思います。

かつては地域交流が活発で情報の共有があつたはずですが。また大家族制でそこでも情報のやり取りができたはずですが。人間関係が希薄になり、騙されるという状況がそこにうまれてきたように思います。

私の寺ではサークル活動が幾つもあります。終わりにには必ずお茶を飲んで、お菓子を食べながら会話がはずみます。そんな中で自然に地域の様々な情報が共有され、犯罪防止の一助になっているのではないかと思います。

現代社会の中で複雑化した情報を処理してゆくことはやさしいことではありません。

住みにくい世の中ではありますが、これからは私もそここの歳になつたので、余計なこと無駄な時間を費やすことなく、安心して生きていきたいと思っています。

第5回歌声喫茶が6月20日開催されました。郵送された案内が届いた直後から次々と申し込みがあり、当日は予定を上回る55名の参加を数えました。顔ぶれは、門徒さんやそのお友達、地域の方々や住職坊守の知人の皆さん等広範囲です。昭和歌謡が好き、みんなで歌うのが楽しい、歌声喫茶の雰囲気が好きという皆さんで本堂がいっぱいになりました。

三好創先生は歌うことで免疫力が強くなるといって、大きな声を出して歌うことを勧め、「北国の春」の歌い出しを自ら歌って見せました。皆さんは、その力強く大きな声にびっくりして、それ以降、タガが外れたように大きな声で楽しんで歌えるようになりました。歌と歌の間には、歌声喫茶の始まりや介護施設での活動、アコーディオンが独奏楽器としていかに沢山の機能を持っているかなどユーモアたっぷりに話されました。

「笑っちゃあだめだよ。

聴いてください。」と笑わせて、「コンドルは飛んで行く」を独奏。皆さんしみじみと聴き入っていました。

最後には「青い山脈」で「オー！」と拳を振り上げ、気合の入った所で終了となりました。

次回は10月17日(土)。お楽しみに！

坊守



第5回 歌声喫茶

三好創さんと歌おう



久しぶりに歌声コンサートに参加させていただきました。一曲二曲口ずさんでいるうちに胸が熱くなってきたので「なぜ？だろう。歌詞のせい？いや特別好きというわけでもない歌なのに・・・。」と。

三好先生のアコーディオンの哀愁を帯びた温かみのある深い音色と演奏のテクニックがそう感じさせたのか。

言葉にも魂がのり、人を感動、感謝、喜びを感じさせる力がありますが、演奏にも同じことがあることを初めて体験しました。

年齢と共に声のトーンも低くなり、以前のような美声では(笑)歌えなくなってしまうので一オクターブ下げて唄い楽しめました。楽しい時間をありがとうございました。 富澤久江

参加者感想



三好先生の楽しいトークにのって「あめふり」から「青い山脈」まで十九曲を力一杯歌う事が出来ました。音程が外れても気にせず昔懐かしい歌をたくさん歌えて幸せでした。「青春時代」のユーモアある歌詞には納得の大笑い。参加した小学生に合わせて「ドレミの歌」を選ぶ優しいご対応。

右手はメロディ、左手は伴奏、譜面を見ずに重いアコーディオンを軽やかに操るお姿に感動しました。週一回水曜日医療機関訪問は一千回を超えたとお聞きしました。後進ご指導も精力的にされ充実の日々を過ごされています。待っている方たちが大勢います。お身体に留意されて大いにご活躍ください。

弘教寺さんにはいつも良質なイベントを企画していただき、自由に参加させてもらい感謝の気持ちでいっぱいです。有意義な時が過ごせると毎回心をウキウキさせて出向いています。 小林きみ子



お寺のピラティス（第一回）

六月二十九日、藤生美香先生をお招きして弘教寺初のピラティスの会が開かれました。夜七時から約四十分間、参加者五名に私と坊守で汗を流しました。ピラティスというのは体の内側の筋肉を動きの中で刺激し、体の正しい姿勢や筋肉の使い方を身に付けていくエクササイズです。内容は、マットを敷いて、その上で呼吸を大切にしながらゆっくりと動いていく、というものでした。様々な体の動かし方がありました。先生のアドバイスを聞いて丁寧に動くことで、じわじわと汗がにじみ、

全てが終わった時には、体の各所が伸びて、柔らかくなつて動きやすさを感じられるようになりました。動きは難しくはなく、二十代から八十代の年代の差がありました。誰が無理なく最後までやりきることができました。



終了後にお茶を飲みつつ感想を聞きましたが、「すごく楽しかった」「明日の筋肉痛が楽しみ」「体がよく伸びて気持ちがすっきりした」「時間があつという間に過ぎた」等々、大変満足そうな皆さんの様子が見られました。

次回は、七月二十七日（月）の夜七時からです。ご興味がある方、お知り合いで興味がある方は是非お申し込みください。公式ライン、もしくはお電話でお待ちしています。 釋真瑛

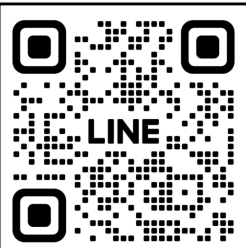
弘教寺公式ラインはじまる

前回の「つつじ寺だより」と先日発送したチラシでもお伝えをしましたが、弘教寺の公式ラインが出来ました。ネットでのコミュニケーションが主流となりつつある現代において、発送されてから届くまでを待つ紙のチラシと比べ、お寺の現在がわかる、お寺のイベントがわかる、お寺に気軽に質問ができる、お寺としても、皆さんに早く伝えたいことを直ぐに伝えることができる。そんなツールとして、この公式ラインを始めました。現在すでに多くの皆様にご登録をいただき、先日は歌声喫茶やピラティスに関する通知を送らせていただきました。

まだまだ登録していただけない方や、チラシが届いていない方もあるかと思いますが、ぜひとも弘教寺のラインをご登録いただき、弘教寺で開催される様々な活動に触れ、興味を持つて参加いただければと思います。 釋真瑛

弘教寺公式ラインの登録方法

- 1、下記のQRコードをカメラで読みとる
- 2、表示されたURLをタップする
- 3、表示された弘教寺公式ラインの友達追加ボタンをタップする
- 4、自分のラインに弘教寺からのメッセージが届けば登録完了



←ラインQRコード

永代経法要勤まる



四月二十九日、当山永代経法要が勤修されました。今回は、ご講師にお若い先生をお呼びしました。縁あって今、伊勢崎市におられる、大阪教区大鳥北組、圓光寺の

衆徒である橘俊了師にお話をいただきました。橘師は、慶応大学を卒業し、本山や築地本願寺にお勤めした経験豊富な二十九歳の若い先生です。兄大悟と中央仏教学院（仏教の専門学校）の同期で、私も東京教区の活動でご縁がありました。若い先生から聞くお話は、ご聴聞された皆様にも大変好評でした。

ご法話終了後には、婦人会の面々や、ご興味を持たれた方々に囲まれて言葉を交わしている姿も見えました。中々巡り合えないご縁を有難くいただいた永代経法要でした。 釋真瑛

第43回弘教寺コンペ

6月2日大間々ゴルフクラブで43回目のコンペが開催されました。梅雨の合間の曇り空の中、17名の会員で競技が進められました。天気を心配しましたが、涼しい一日で快適な気分でのプレイできました。

優勝者は宮下恵一さんで、グロス88、ネット59でした。



好スコアで回り、初優勝でしたのでとても喜んでおられました。会場のレストラで表彰式とパーティーがあり、その日の結果で話が弾みました。 住職

境町思い出話②―第二大盛座―

昭和二十年・三十年は、映画全盛の時代でした。旧境町には現在の天武さんの北側駐車場のあたりに「第二大盛座」という名の映画館があり、休日を中心に多くの町民が押しかけました。当時ラジオ放送はありましたが、映像で見る娯楽は映画だけでした。映画大好き人間である私は当時大きな穴あきの五十円玉をもらい、朝から夕方まで夢中で見ていました。『美空ひばりの三度笠』大友柳太郎の『鞍馬天狗』市川右太衛門の『旗本退屈男』等々夢中で見ました。あまりの混みようで、小さい私（小学3年の頃）は大人の人の腰の間に顔を突っ込み、やっと見られる状態でした。前半の映画が終わると席が空き、ゆっくりと鑑賞できました。当時映画は3本立てで、子供は三十円だったと思います。

残りのお金で、場内の売店でおでんを買ってコーヒー牛乳を飲み、また、入館時すぐ前にある栄寿堂さんの当時としては珍しい焼きたてのアンパンも買い、場内で食べて一日を楽ししく過ごしたのは、良き思い出となっております。ワクワクどきどきの少年時代の思い出です。

長い間町民を楽しませてくれましたが、残念ながら昭和44年に焼失してしまいました。

住職



小倉駅から徒歩で行く北九州（1）

先日、九州の友人の結婚式に招かれた。九州には小さいころ行ったきりで、大人になってからは一度も言ったことのない未開の地であった。今回は、九州の入り口、北九州市の小倉駅を拠点として、関門トンネルをはじめ、各地歩き回った道中を記していこうと思う。

道程として、まず国道三号を通過して関門トンネルを下関側まで行き、海沿いの国道一九九号を戻って往復する、計二十八キロを歩く予定を立てた。しかし、翌日が結婚式の日で、歩き疲れて当日足が動かなくなっただけというよりは、足に限界が来るまで景色を楽しむこととした。

新幹線で小倉駅に着いたのは午前十時半ごろ。ホテルでチェックインの後、早速関門トンネルへ足を向けた。ホテルの場所は駅の北側かつ海よりであったので、まずは小倉駅を通り抜け、国道三号へ向かった。道中の小倉駅公共連絡通路には、両壁面に沢山の漫画、アニメの作品イラストが描かれていた。「銀河鉄道999」の松本零士先生はじめ、沢山の漫画家先生のサインやイラストが並び、とても見ごたえのある通路であった。北九州市には「北九州漫画ミュージアム」があり、「アジアMangaサミット」という大会が開かれた市でもあるそうだ。次に訪れる際にはゆっくり見て回りたいものである。

釋真瑛



編集後記

今号が皆様のお手元に届く頃には梅雨も明け、蒸し暑い本格的な夏の到来を感じる季節になっていることと思います。昨年の夏には伊勢崎市で人間の体温を上回り生命に危険を及ぼすような41・8度という国内最高気温を記録しました。今年から夏日・真夏日・猛暑日・という気温による名称に加え、新たに最高気温が40度以上の日が酷暑日と定められました。今年の夏も厳しい暑さが予想されており、酷暑日という用語がこの夏に使われないことを願うばかりです。お寺では間もなく大切なお盆の法要を迎えます。暑さに負けず元気なお姿でお参りできますよう心よりお念じ申し上げます。

栗原政廣

◆ 行事予定 ◆ 令和8年8月 ～ 令和8年11月

月別	弘教寺の行事予定		教区・群馬組の行事予定	
8月	15日(土)	合同お盆法要	18日～20日	北ブロック門徒子弟研修会(千葉)
	20日(木)	婦人会例会		
9月	13日(日)	壮年会例会	18日(金)	千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
	17日(木)	婦人会例会	20日～26日	秋彼岸
10月	17日(土)	歌声喫茶 三好先生		
	21日(水)	婦人会例会		
11月	8日(日)	壮年会例会	11日～16日	築地本願寺報恩講法要
	未定	弘教寺ゴルフコンペ		
	19日(木)	婦人会例会		